

新しい支え合いの カタチ

平成30年4月～平成31年3月
(2018.04～2019.03)
活動報告書



特定非営利活動法人(NPO法人)
鶴ヶ島第二小学校区地域支えあい協議会

特定非営利活動法人(NPO法人) 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会 設立趣旨書

私たちの地域(鶴ヶ島第二小学校区)は、約3220世帯7170人が生活しています。年々高齢化が進み、高齢者の比率は25%(注1)を超えています。縁あってこの地域で生活をする私たちには、この地域がこれからも人に優しく安全で安心して暮らせる地域であってほしいと願っています。

鶴ヶ島第二小学校区の10自治会は、従来から鶴二小を中心に、納涼大会や運動会、お祭りなどの諸行事を共に行い、平成20年には「鶴ヶ島第二小避難所運営委員会」を設立し、住民自身で主体的な地域防災に取り組んできました。また、アンケート調査で、多くの方から、「地域のために協力できる」と回答をいただきました。

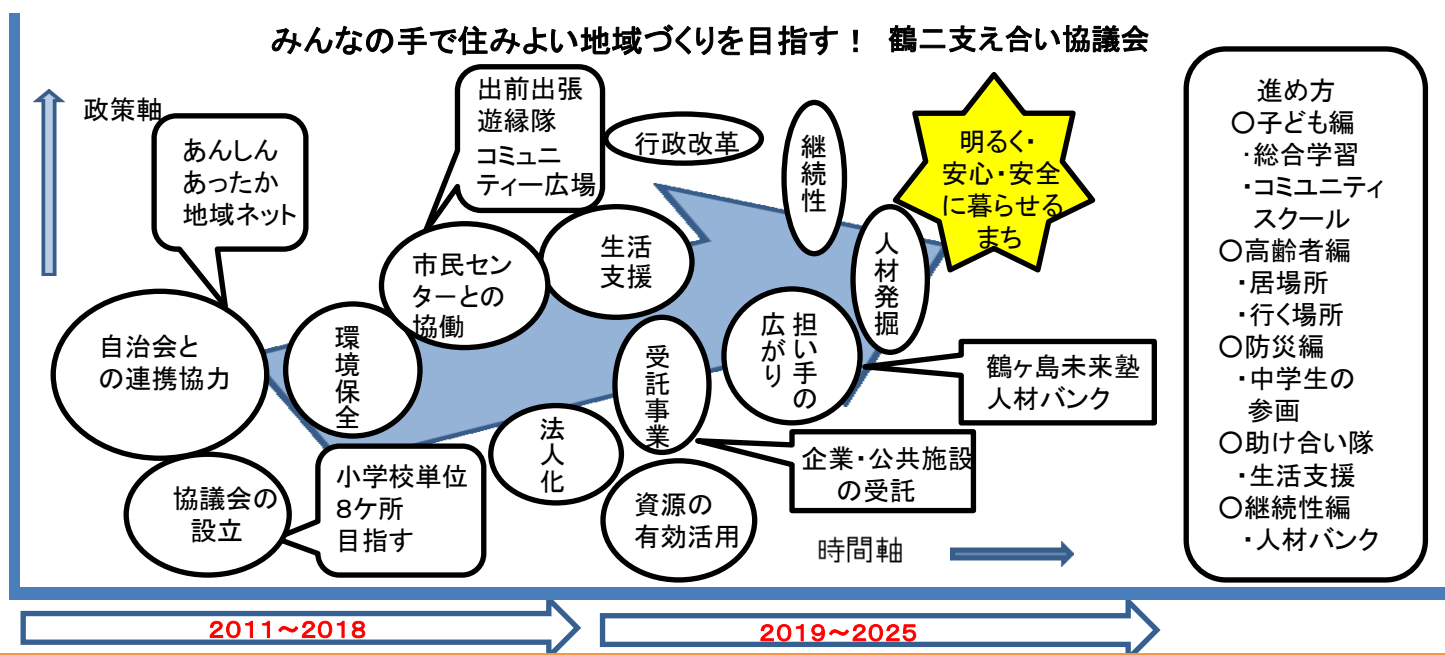
こうした実績をふまえて、この地域全体で助け合い、支え合う新たな地域づくりを目指して、平成23年7月に「鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会」を発足させました。発足以来、「鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会」は、地域防災、福祉支え合い、子育て、助け合い隊などの多様な事業を、行政や、社会福祉協議会、自治会、各団体との連携で展開してきました。私たちは、これらの事業が地域の諸課題を行政にすべて頼るのではなく、地域住民自らが主体的に取り組む、共助の新たな仕組みづくりであると考えています。

これから先、地域の高齢化はさらに進むことが見込まれ、地域の抱える課題が増えていくと思われます。私たちは、地域課題に向き合って地域の力を結集し、責任ある活動を継続して行うために、「現鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会」をNPO法人にすることとしました。

私たちは、住民1人ひとりが自立自助の志を強め、知恵と力を出し合い、お互いに助け合う地域共助のカたちをつくりだし、新たな地域コミュニティーを創造していきたいと考えます。この新しい取り組みに一層のご理解とご協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。

平成25年8月25日

(注1)平成30年4月1日現在高齢者の比率:30.2%



2007年度(平成19年度)

平成20年3月20日、鶴二小通学区10自治会、学校長、公民館館長、市防災担当部所と協議し、鶴ヶ島第二小学校避難所運営委員会に関する申し合わせ事項を確認。

2008年度(平成20年度)

平成20年7月31日、新旧の10自治会長を含め、設立会議を開催し、鶴ヶ島第二小学校避難所運営委員会の活動をスタートし、地域住民が主体となって地域合同防災訓練など継続して実施。



地域合同防災訓練を毎年継続して実施しています。

2011年度(平成23年度)

地域の多様なニーズに応えるため、「平成23年度埼玉県市町村・NPO等協働モデル推進事業」の助成金を受け、通学区10自治会、民生児童委員、NPO法人、企業、地域包括支援センター、社会福祉協議会、行政などの連携協力により、平成23年7月6日鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会を設立し、防災に加え高齢者福祉、子ども育成などの活動を拡大。



先進的活動として多くの視察研修・講演を受け入れています。

2012年度(平成24年度)

平成24年10月1日、高齢者などの困りごとを有償でお手伝いするボランティア活動「鶴二助け合い隊」を開始。

2013年度(平成25年度)

平成25年8月25日、活動の広がりに応え任意団体から特定非営利活動法人鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会の設立に向け総会を開催し、その後埼玉県への認証申請を経て、同年12月2日法人となる。

2014年度(平成26年度)

平成26年4月27日第1回通常総会を開催。法人化の後、環境教育施設「eコラボつるがしま」の受付、案内業務や養命酒製造(株)の工場跡地の草刈り等の業務を受託。

2015年度(平成27年度)

平成27年5月10日第2回通常総会を開催。平成27年7月22日総務省地域力創造グループの「暮らしを支える地域運営組織に関する調査研究事業に関する研究会」の第1回研究会において協議会の活動を発表。

2016年度(平成28年度)

平成28年4月、地域で安心安全に暮らせしていけるネットワークを構築すべく、鶴二支え合い協議会が中心となり社会福祉協議会・地域包括支援センター・近隣福祉事業者・南市民センターを中心に世話人会議を重ね、「鶴二あんしんあったか地域ネット」が発足。

2017年度(平成29年度)

平成29年8月26日～27日、九都県市合同防災訓練(夜間宿泊訓練)を実施。11月18日、坂戸鶴ヶ島医師会より地域医療貢献者表彰と鶴ヶ島市長感謝状の贈呈を受けた。

2018年度(平成30年度)

「実践に即した避難訓練」を実施するために、各自治会から選出された避難所運営委員と防災委員からなる鶴ヶ島第二小学校区避難所実行委員会を立ち上げ、新たな避難所運営取り決め事項を作成。

防災委員会

防災委員会は平成20年「鶴ヶ島第二小学校避難所運営委員会」の設立以来、地域自治会、小学校、福祉施設、近隣の大学、医師会、消防組合、行政等と連携を持って地域の住民が主体となって継続して地域合同防災訓練を行ってきました。本年度より「実践に即した避難訓練」を実施するために、各自治会から選出された避難所運営委員と防災委員からなる鶴ヶ島第二小学校区避難所実行委員会を立ち上げ、新たな避難所運営取り決め事項を作成し、自治会の避難誘導等の訓練・避難所における訓練・体育館における訓練を実施することができました。2月、藤中学生対象の健全育成防災講座に「つるがしま中央・杉下地域支え合い協議会」と協力して取り組みました。

鶴二避難所運営実行委員会

8月 4日：39名 9月 8日：54名
11月25日：35名

10自治会地域合同防災訓練 10月27日(土)

午後1時00分～午後4時00分

合同防災訓練参加者：367名



自治会避難場所集合



負傷者等の救出救護



教室で避難者カード記入



福祉・ペット避難所開設



ミニFMラジオ放送訓練



医師会の医療救護開設訓練

体育館における施設運営体験訓練



健全育成防災講座



トイレの組み立て



仕切り板組み立て・設置



ダンボールベッドづくり



新聞紙によるスリッパづくり



ペーパーによるマスクづくり

福祉支え合い

平成30年度活動報告

福祉支え合い委員会

急速に進む高齢社会を踏まえ、高齢者が孤立しないよう、交流を重ね健康、生きがい、安心を得られるようにサロン活動を行ってきました。第1回「楽しいサロンの輪を広げよう！」を開催し、サロンの交流を図りました。また、高齢者への福祉支援活動として「見守り声かけ活動」や「人権講演会」、「高齢者福祉介護セミナー」を開催しました。

第7回高齢者福祉人権講演会

平成30年9月1日

講演内容

『 知っていますか？在宅医療
～自分らしく支える医療～ 』

講 師：小川 越史 先生

参 加 者：106名



楽しいサロンの輪を広げよう！

平成31年2月24日 発表サロン：9団体
参加者：152名



第6回高齢者福祉介護セミナー

平成31年3月2日

活動内容

第1部 福祉介護サービス 紹介セ
ミナー

6事業所の紹介

第2部 講演

「地域リハビリテーション」

～医療・福祉と地域の支え合いで
その人らしい生活を～

講 師：立川 太一 先生

参 加 者：114名



福祉ふれあいサロン活動

高齢者サロン「エスポワール」(希望)

参加者の意見を尊重し毎回の催事を話し合いで決めます。
これまでバスツアー、映画鑑賞、歌声喫茶など多種多様。

第1・第3金曜日 13:30～15:30 参加者：361名



鶴二小児童会食会

学校給食を児童と一緒に食べながら交
流したり、近隣の特養施設でも会食を
行います。参加者：66名



ふれあい体操

第1・3・4週
月曜日10:30～

参加者：506名



健康吹き矢教室

第2・3週土曜日
10:00～

参加者：180名



子ども委員会

地域の子どもの健やかに育てるため、自由な遊び場づくりプレーパーク、子育てサロン、宿題サロンを実施してきました。また、子育て支援講座、観劇会等を関係団体と連携協力し行ってきました。

塾でもない学校でもない「宿題サロン」

平成25年8月からスタート、地域のボランティアの協力で運営されています。勉強や宿題だけでなく児童に喜ばれる工夫をしています。

毎週月曜日15:00～17:00

夏休みも5日間開催。

参加者:1,188名



遊び場の活動「プレーパーク」

季節にあわせて水遊び、流しそうめん、バルーン遊び、餅つき等々、子どもたちが自由に遊べる場を作っています。年に何度かは関係団体と連携して市民の森などに繰り出します。

毎月第四土曜日10:00～15:00

参加者:113名

「子育てサロン」

未就学児童と子育てママの交流の場として親子そろって快適に過ごせる場所の提供。また、南市民センターとの共催のイベントも行います。祝祭日を除く月曜日～金曜10:00～15:00自由にご利用できます。

参加者:401組



「観劇会」

この地域で親子で楽しめるお芝居を観ることはなかなかできません。毎年関係団体との協働による観劇会を行っています。

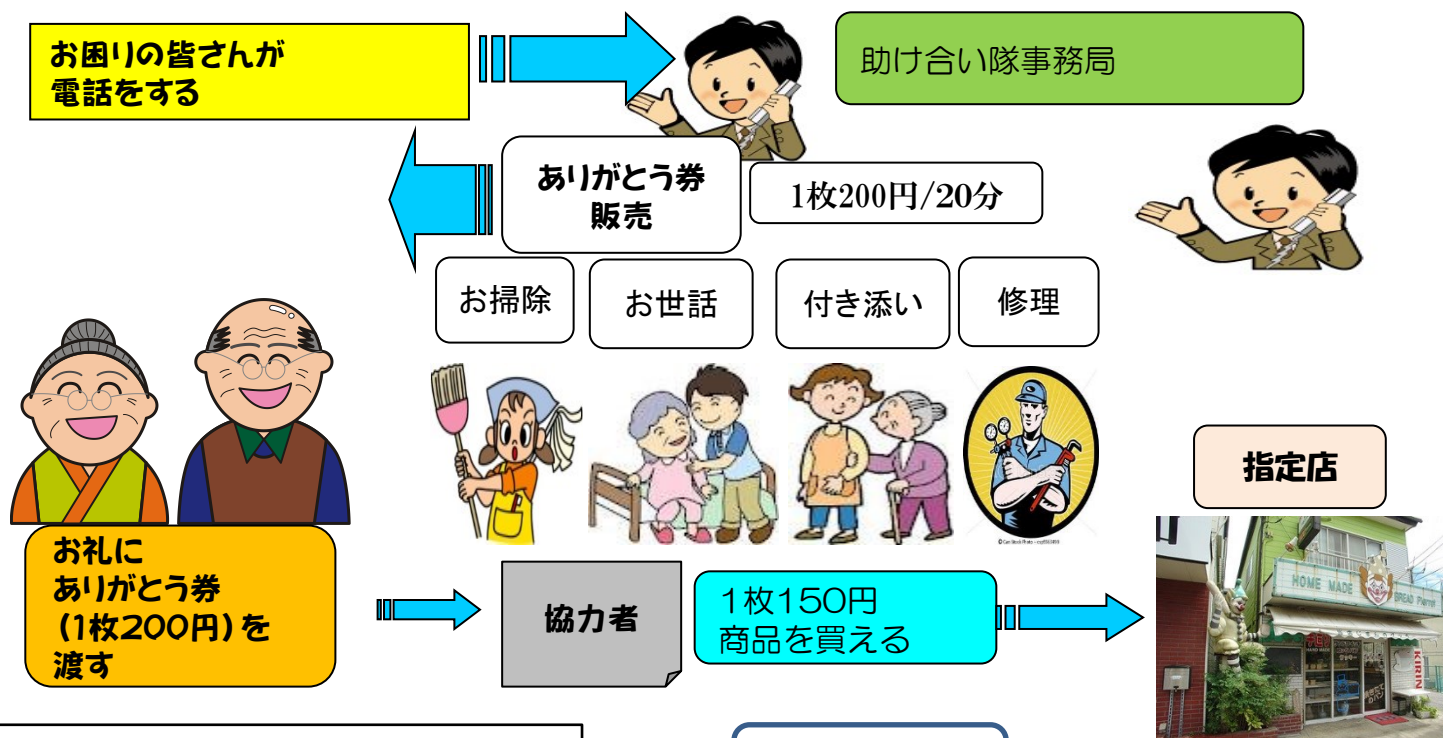
参加者:93名



鶴二助け合い隊

高齢者などの生活上の困りごとを、地域の元気な方の有償ボランティアで支え合い助け合う活動です。近年介護保険の改定などで高齢者の身近な生活支援などのお手伝いの要望が増えました。

【ありがとう券】という形にする事で、利用者は、気軽にお問い合わせを頼み、協力者は自分らしく利用者のお手伝いをする事が出来る、プロとは違う温かみを大切にしたい仕組み作りをめざしています。



助け合い隊は、平成20年以降埼玉県各市町村の社会福祉協議会などが中心となって設立されてきました。現在市内では鶴二小学校区の「鶴二助け合い隊」、富士見地区の「わかば助け合い隊」、南小学校地区の「サザン助け合い隊」、杉下小学校地区の「杉下助け合い隊」、西部地域の「西部助け合い隊」、中央地域の「中央助け合い隊」の6地区で実施されています。「ありがとう券」や「取り扱い店」など共通して使用できるシステムとなっています。

除草

- 助け合い隊活動
- ・利用会員数：126名
 - ・協力会員数：42名
 - ・協力会員活動者数：322名
 - ・活動実績：124件/年



地域ネットワークの推進・環境保全を進める事業

協議会はまちづくりに係る活動や地域のイベントなどに積極的に参加・参画しています。また、協議会主体の事業活動や自治会、福祉施設などとの情報連絡会など実施しました。



「鶴ヶ島産業まつり」

産業まつり、eコラボまつり等に焼きそば・豚汁等の模擬店を出店しました。



「地域デビューきっかけ広場」

60代前後の世代の皆さんが地域活動団体に参加していただく目的のイベント、実行委員として積極的に参加しました。



「南どんぐりまつり」

地域活動の拠点である南市民センターを支援するためにセンター利用者等と連携して積極的に参画しました。



養命酒製造(株)は、鶴ヶ島太陽光発電所に隣接した場所に地域貢献事業として環境教育施設「eコラボつるがしま」を建設しました。この「eコラボつるがしま」は、環境教育施設だけでなく災害時の給電や給水能力が備わっており、地域の大切な資源であり、また住民の交流の場として活用しています。年間行事としてオープン記念日に「eコラボまつり」(600名)・「eコラボマルシェ」(151名)、「えこらぼ寄席」(50名)、「eコラボサイエンス教室」(323名)などを実施しました。また、協議会では施設見学の受付案内業務、工場跡地の環境保全の草刈り事業も行っています。



鶴ヶ島第二小学校環境整備



落ち葉プロジェクト

全体事業(2)

平成30年度活動報告

安全で安心して暮らせる地域づくり等に係る調査研究及び広報事業

鶴二あんしんあったか地域ネット

私たちの地域(鶴二小学校区)の中で高齢化により困った時に共に支え合い助け合う活動を行う。

○地域活動の縦割りの弊害をなくす。○ネットワーク化による横軸の関係を大切にする。

活動

- ・ニーズの把握 : 地域実態の把握～聞き取り
- ・実践活動へ : 課題解決～事例による検討会
- ・情報の見えるか : マップづくり、配付
- ・学習課題の共有 : 勉強会、ワークショップ
- ・世話人会・全体会

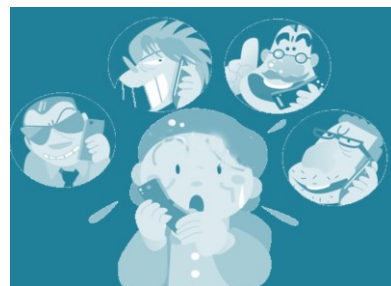


あんしんあったか地域ネット世話人会



わたしのあんしんあったかガイド

- ①緊急連絡先
- ②困った時の相談先
- ③身近な便利なお店・サービス
- ④防災防犯情報



◆広報誌「鶴二支えあいだより」(A-4 表裏)

毎月600部発行、会員への配布、自治会の回覧、近隣福祉施設、公共施設等に配布しています。

◆Webなどの広報活動(「鶴二支えあい」で検索してください。)



ホーム 活動内容 団体情報 問い合わせ・地図

NPO法人

鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会

日々の活動は
日本財団が運営する
ブログサイトをご覧ください

「鶴二支えあい」ホームページ

<https://taggucchi.wixsite.com/tsuru2sasaeai>

活動内容や団体情報などをお伝えしています。



「鶴二ささえあい」ブログ

<http://blog.canpan.info/tsuru2sasaeai/>

イベント等のお知らせや日々の活動報告などを投稿しています。



◆視察受入



団体との情報交換、来訪等

平成30年4月～平成31年3月

期 日	内 容	団 体 名	人数
6月18日	来訪	和光市社会福祉協議会	20
12月 5日	来訪	川崎市宮前地区(町内会・自治会)	41
1月23日	来訪	宮代(2)・杉戸町(1)・松伏町(2) 白岡市(2) 社会福祉協議会	7
3月 5日	来訪	柏市風早南部地域ふるさと協議会	44

インタビュー

協議会は設立以来、市民活動団体、事業所や個人など幅広い方々と連携協力し、地域課題に取り組んできました。ここで、地域に関わる皆さんにインタビューし、その思いを語っていただきました。

特別養護老人ホームみどりの風 生活相談員

嶋野 博之 さん

Q みどりの風との連携についてどのように思っていますか？

みどりの風鶴ヶ島の行動指針に「地域の活動など積極的に参加し連携を深めます」という項目があります。鶴二支えあい協議会様に、様々な地域活動に参加の機会をいただきまして、大変うれしく思っております。これからも多種多様な地域課題に対して、「自分たちの解決すべき課題」として一緒に向き合っていきたいと思います



Q これからの協議会へのご意見や期待をお聞かせください。

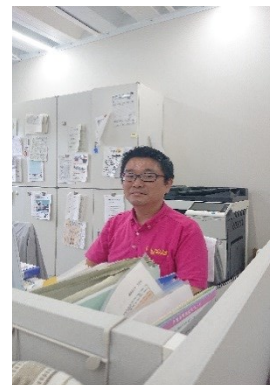
子育て、教育、高齢者（介護）、災害など、地域における様々な課題に対して、住民が主体となって向き合っている姿が素晴らしいと思います。住民が自ら課題を解決して、自分らしく生活していくためには、様々な協力や連携が必要です。これからは協議会様には、地域で生活や活動している人の交流の場を作っていってほしいと思います。

鶴ヶ島市地域包括支援センター いちばんぼしセンター長

新村 慎之介 さん

Q 鶴二支えあい協議会の活動についてどのように思っていますか？

地域の福祉や子供育成活動、助け合い隊など、地域の事を地域の皆さんで支えて行こうという理念や活動は素晴らしいと思います。仕事の関係上、いろいろな地域に関わって来ましたが、ここまで住民の方が主体になって地域の事について考えている地域を私は記憶がありません。地域の事を他人や行政任せにするのではなく、我が事として捉えて活動して行く事は現在の超高齢社会、少子化問題など様々な課題に対して心強い活動であると思います。



Q これからの協議会へのご意見や期待をお聞かせください。

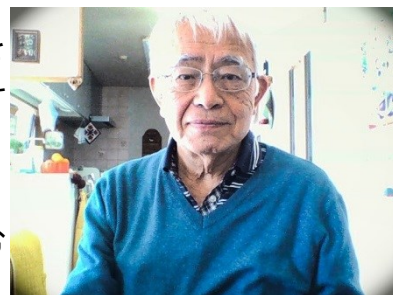
昔に比べて、現在は介護保険サービスや医療サービスなどの公的なサービスも整って来ています。しかし、制度である以上届かない場合がある事も少なくありません。公的なサービスだけでなく、地域での活動で支えられる事が非常に重要になってくると思います。『向こう三軒両隣』、我が事だけではなく近隣で気に掛け合って助け合う事で問題が問題でなくなる様な地域づくりを期待しております。

**鶴ヶ丘第一自治会会長
砥川 武雄 さん**

Q 自治会との関係についてどのように思っていますか。

毎年地域合同防災訓練では多くの地域の人々を巻き込み、よい経験をさせていただいております。非常に貴重な体験訓練ですので、できるだけ多くの方に参加していただけるように声をかけていきたいと思っております。

鶴二支え合い協議会は、ますます高齢化が進む地区で出来ることから着実に成果を収められ、みなさまに喜ばれています。多様なつながりにむけてお互いに連携協力していきましょう。



Q これからの協議会へのご意見や期待をお聞かせください。

地域ネットワークの推進を図る事業、環境の保全を進める事業の目標を明確にして、関連のある各連絡会との連携を図っていかれること。是非、参加した人たちの達成感が大きく広がるようになっていただきたいと思います。

**鶴ヶ島第二小学校PTA会長
青木 真紀 さん**

Q PTA活動への協力についてどのように思っていますか？

支え合い協議会さんにおかれましては、各種学校行事において運動会準備、除草作業や花壇整備など諸先輩方の知恵とお力をお借りしながら幅広くPTA活動に携わって頂いております。学校外でも子育てサロン、宿題サロン、プレーパークなど地域の親代わりの活動に大変感謝しております。



Q これからの協議会へのご意見や期待をお聞かせください。

働く女性が増え、子育てに思うように時間を使うことができない今の時代には、ますます支え合いさんの地域貢献への期待は高まるばかりです。これからも今まで以上にご協力を仰ぐことがあるかと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。

協力団体

平成30年度活動報告

久保団地自治会
藤の台団地自治会
上広谷第一西自治会
上広谷第二自治会
上広谷第三自治会
鶴ヶ丘第一自治会
鶴ヶ丘第二自治会
鶴ヶ丘第四自治会
鶴ヶ丘第五自治会
鶴ヶ丘第六自治会
鶴ヶ丘常葉会
鶴ヶ丘第二自治会寿会
上広谷第一長寿会
NPO法人 カラーレ
独立行政法人 防災科学技術研究所
株式会社 メモリード 埼玉事業本部
養命酒製造株式会社
株式会社関水金属
株式会社ヤオコー 鶴ヶ島店
東洋大学
城西大学
女子栄養大学
日本医療科学大学
一般社団法人 坂戸鶴ヶ島医師会
坂戸鶴ヶ島市歯科医師会
坂戸鶴ヶ島市薬剤師会
鶴ヶ島市地域包括支援センター ペんぎん

鶴ヶ島市地域包括支援センター いちばんぼし
たちかわ脳神経科クリニック
鶴ヶ島耳鼻咽喉科診療所デイクアルーム
在宅訪問介護事業所 ベルグラー
みどりの風鶴ヶ島
ハーモニーライフ鶴ヶ島
あったかホーム鶴ヶ島
ニチイケアセンター鶴ヶ島
グループホーム鶴ヶ島
まごころの家 あゆみ 藤金
ナーシングホーム鶴ヶ島
デイサービス 花水樹
デイサービス はるかぜ
トータルファミリーサポート あゆみ
SOMPOケア ラヴィーレ鶴ヶ島
さかえ保育園
鶴ヶ島みどり保育園
鶴ヶ島駅西口商店会
鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校
鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校PTA
鶴ヶ島市立藤中学校
鶴ヶ島市立藤中学校PTA
鶴ヶ島第二地区青少年健全育成推進協議会
公益社団法人 鶴ヶ島市シルバー人材センター
社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会
鶴ヶ島市
鶴ヶ島市南市民センター

その他、地域の多くの団体、個人の皆様にご協力頂いています。
(順不同)

発行者 特定非営利活動法人 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会

住 所 鶴ヶ島市鶴ヶ丘358-1 鶴ヶ島第二小学校南校舎 1階

電 話 049-298-7974(FAX同じ)

MAIL: s-2012039561@ah.wakwak.com

Web: <https://taggucchi.wixsite.com/tsuru2sasaeai>

ブログ: <http://blog.canpan.info/tsuru2sasaeai/>



Web



ブログ